

まちのキラリびと



お気軽にご相談ください。

福井県事業承継・引継ぎ支援センター エリアコーディネーター
楠 正志さん(左)と中山 喜美子さん(右)



▶場所
アクアトム2階
▶相談日
毎月第2・4の
月曜日と木曜日
▶連絡先(要予約)
0776-33-8279



▶詳しくはこちら

事業承継で繋げる未来、
あなたの事業を次の世代に引き継ぐ
お手伝いをします

中小企業の経営者の平均年齢は年々高齢化しており、後継者不在による事業承継問題が深刻化する中、中小企業の事業を次の代へスムーズにバトンタッチするお手伝いを目的に、令和3年4月に「福井県事業承継・引継ぎセンター」が設立されました。

このセンターは、県内17市町と、商工会議所、金融機関など66のネットワーク機関と連携して、「親族への承継」「従業員への承継」「第三者への承継」に悩みを抱える事業者の相談窓口となっています。

今年度から、エリアコーディネーターを1人増員して2人体制で敦賀を含めた嶺南地域の支援を強化しています。公認会計士として事業承継の分野において豊富な経験を持つ楠 正志と自身が稼業を承継した経験を持つ行政書士の中山 喜美子のコンビです。

事業承継というと、大きな企業のことのように思われるかもしれませんが、実際に相談に来られる事業者の半数以上が従業員5人以下の会社の経営者です。

経営者が大切に守ってこられた事業、地域に愛されるお店、敦賀の守るべき産業などが後継者問題で廃業を決める前に、一度ご相談ください。

広報つるが 令和4年8月号
No.966 (令和4年7月12日発行)

発行：敦賀市 編集：秘書広報課
印刷：若越印刷株式会社

F914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
E-mail: kouhou@ton21.ne.jp
TEL 0770-22-8112 FAX 0770-22-8170

まちの宝を発見！ つるが歴史遺産



まだまだ整理中！

案内人 学芸員 藤本 悠希

秘書広報課移管アルバム



▲市街航空写真【1950～60年代】



▲旧庁舎(桜町)【1952年】



敦賀市の歴史を物語る写真、
100冊以上のアルバムが博物館へ

新庁舎の供用が開始され、50年近くもの間親しまれてきた旧庁舎の取り壊しも瞬く間に終わってしまいました。文化振興課では、庁舎移転に伴い市政に関する重要資料が散逸するのを防ぐため、一部の資料を引き取るようになりました。その中で特に分量が多かったのが、この「広報つるが」を編集している秘書広報課が収集してきた写真です。その数、アルバム114冊分。具体的に何枚の写真が納められているのかはまだわかりませんが、2千点以上の写真が収録されているものと考えられます。(また、これ以上の数のフィルムも残されていました。)

引き取った写真のほとんどは昭和期に撮影されており、中には戦前に撮影されたものもあります。その内容は、市内の大きなイベント(開港70周年つるが港まつりなど)関係、災害(38豪雪、56豪雪など)関係、市内のできごと(公共施設の開所など)関係、市内風景、広報つるが掲載写真に大きく分けられます。また、今回博物館へ移管された写真は、デジカメの導入以前に秘書広報課が地道に撮り貯めていた記録写真や、かつて同課が市民から提供を受けた古写真がほとんどです。写真の中の人やものが敦賀の歴史を物語るだけでなく、この写真が今ここに存在すること自体が、それまで市内で写真を撮り集めてきた市民の方々と秘書広報課の歴史を物語っているのです。

引き取った写真資料の数は膨大で、現在、整理を進めているところです。近年に撮影された写真も含め、敦賀の歴史を後世に伝える貴重な文化財の一つとして、今後も整理・活用していきます。

広報担当者のつがやき

先日地元の美化運動に参加しました。炎天下の中の作業だったこともあり、意識して水分を小まめに摂っていたのですが、終盤に差し掛かり吐き気とめまいを感じてすぐさま日影へ。この時期の外作業は、十二分の飲み物と十二分の休憩を取りましょう。(T)

今回、ウェルネス広場の特集で、カメラの難しさを改めて痛感しました。特に、遊びまわる子どもを撮るのが難しかったです。子どもの動きというのは本当に予想できません。結果、汗だくのおじさんがカメラを持って子どもを追いかけ回す地獄絵図に。取材にご協力いただいた皆さんありがとうございました！(M)

●広報つるが 毎月第2火曜日発行 ●市政広報ラジオ(敦賀FM放送77.9MHz)
●行政チャンネル(RCN 091ch) 平日4分番組・12回放送
●HP https://www.city.tsuruga.lg.jp/ 毎日6時～24時放映(週3回入替)